



えんだより10月号

(2 0 2 6)



多くの皆様の応援を頂き、子ども達も大きな行事を終え、また一つ大きくなりました。

幼児教育の現場ではカリキュラムはもちろん、年齢に応じた課題があります。進級して半年！

様々な課題をそれぞれが学び、経験してきた子どもたちの姿を、運動会という大きなイベントで見てくださいました。ことしもそれぞれの自立や、お隣にいるお友達を感じることの大切さを学んで運動会は行われました。

0歳児・1歳児さんはどんな時もやはりスターでした。泣く子もほとんど無く、かけっこやダンス(?) などなどを、会場の皆様が目を細める中、かわいい姿を披露してくれました。今年の**2歳児**さんは、以上児さんになる前の活動の様子を見せてくれました。ダンスなど **2歳児**らしいプログラムに、みんな釘付けだったようです。おチビちゃんたちの 走る！走る！ 基本の走ることをメインにした構成でした。

年少さんは、走ることも並ぶことも自分で考えてのダンスでした。親子競技では子供たちの握力の大切さを楽しく見ていただきました。

双葉恒例のバルーンに挑戦した **年中さん**！ 今年もすばらしいバルーンでした。今年はバルーンを交換するなど担任達の思いがいっぱい詰まったバルーンでした。

さすが **年長さん**！ ドラムも10日ほど練習をせずにいると、『先生！ いい加減に練習しようよ～！』しびれを切らした子ども達でした。今年の子供達とはとても挑戦する気持ちが高く、『僕が大鼓！私がシンバル！私は絶対小太鼓！』などなど自分で決めていました。スケールの大きなガードやフープを使っのダンスは圧巻でしたね。素晴らしいリーダーたちの誕生でした。こうして運動会は終わりました。今回の運動会では、来賓の方々から、『子ども達はもちろん、職員が育っていますね。大きな行事に取り込む意気込みと責任みたいな気迫と共に、どなたもご自分で考え子ども達に関わっていた姿が印象的でした。』身に余るお褒めの言葉を頂きました。確かに今回は職員それぞれが持っているキャリアを、どのクラスにも惜しみなく提供している姿がそこにありました。多くの皆様のご協力や温かい声援に背中を押され、子ども達は素晴らしい時間を過ごし、会場の皆様に自分の姿をみせる責任、一緒にいる仲間達への責任という言葉の意味をなんとなく感じてくれたようです。心よりお礼を申し上げて 皆様！ お疲れ様でした。

……追伸 マイケル・双葉のダンスは前日に特訓を受けました。それはそれは大変でしたが、職員にとっては素晴らしい時間でした。ありがとうございました。(^^)/